

①大雨時の災害情報が変わりました。

大雨時の災害情報を5つのレベルでお伝えします

平成30年7月に発生した西日本豪雨を教訓とした国のガイドラインの改定に基づき、新しい方法で災害時の情報提供を開始しました。

- 災害発生の恐れの高まりに応じて、とるべき行動を直感的に理解できるよう、市では避難勧告等に警戒レベルを付け避難情報をお知らせします。
- 警戒レベル3、4が発令された対象区域の方は、速やかに避難してください。
- 実際に災害が発生しているとの情報は、命を守るための行動に直結するため、災害が発生していることを把握した場合に、「警戒レベル5」災害発生情報を発令します。



【警戒レベル5】(仙台市が発令) はすでに災害が発生している状況です。

※内閣府(防災担当)資料を基に作成

②ハザードマップで事業所の位置をご確認ください。

地震や津波、大雨災害から身を守るための基本的なことをまとめたものです。日頃から備えておくことや、お住まいの地域の危険箇所を事前に把握することができます。

<http://www.city.sendai.jp/kikikanri/kurashi/anzen/saigaitaisaku/hazardmap/map.html>

③仙台市浸水想定区域図(内水ハザードマップ)もご確認ください。

浸水想定区域図は、自分の住んでいる場所などが、どの程度浸水するおそれがあるのかを事前に把握し、被害の軽減を図るものです。

土地の状況や雨の降り方によっては、想定を超える浸水となったり、想定と異なる場所で浸水が発生したりすることがありますので、ひとつの目安として参考にしてください。

<http://www.city.sendai.jp/gesuido-kekaku/kurashi/machi/lifeline/gesuido/gesuido/gaiyo/shinsui/naisui.html>

④要配慮者利用施設における避難確保計画の作成をお願いします。

平成28年8月に発生した台風10号によって、高齢者グループホームにおいて利用者等の逃げ遅れによる痛ましい被害が発生したことを受け、「水防法等の一部を改正する法律」（平成29年法律第31号）が平成29年6月19日に施行されました。

これにより、洪水浸水想定区域や土砂災害のおそれのある区域内に存する要配慮者が利用する施設の所有者または管理者に対して、洪水・土砂災害における防災体制や訓練の実施に関する事項を定めた「避難確保計画」を作成し各市町村長に届け出る義務及び訓練を実施する義務が課されることとなりました。

要配慮者利用施設の所有者等におかれましては、仙台市ホームページに掲載されている資料を基に、各施設の実態に応じた「避難確保計画」の作成をお願いします。

<https://www.city.sendai.jp/kekaku/kurashi/anzen/saigaitaisaku/fusuigai/hinankakuhoikeikaku.html>

また、作成した計画は、仙台市危機管理室減災推進課へ提出してください。

⑤仙台市では障害福祉サービス事業所等向けの BCP（事業継続計画）研修を開催しています。

BCP（事業継続計画）について、基礎から、事例を交えてわかりやすく解説します。

令和2年度も開催予定です。開催の詳細が決まりましたら、後日、皆さまの事業所へメールでお知らせいたします。ご参加をお待ちしております。

○令和元年度開催実績

日時：令和2年 1月30日(木) 14：45～16：45

場所：仙台市福祉プラザ 1F プラザホール

対象：仙台市内障害福祉サービス事業所の管理職や防災担当者など

講師：東北大学 災害科学国際研究所 教授 丸谷 浩明 氏



内水マップで事業所の位置を確認



災害時に必要なことについて
グループワークで確認